

黄金世代

変額個人年金保険(07)終身D3型



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

特別勘定（世界分散型40AF（02）/世界分散型20AF（02））

四半期運用実績レポート

2015年7月～2015年9月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2015年7月~2015年9月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、前半は好調な企業業績を背景に上昇しましたが、中国景気減速懸念などから世界的な株安となり下落しました。

7月は5日のギリシャの国民投票で財政緊縮策が拒否され先行き不透明感が広がったことや、中国株安を受けてリスク回避の動きが強まり下落しましたが、海外情勢が落ち着くと反発しました。その後、月末から本格化した4-6月期決算発表の好調を背景に、8月上旬まで上昇傾向となりました。しかし、11日から3日連続で中国人民銀行が人民元の基準値を引き下げると中国景気減速懸念が意識されて下落に転じ、上海株の急落を契機に世界同時株安と円高が進みました。月末にかけては過度な不安心理が後退して買い戻されましたが、9月に入ると再び下落し、海外市場の好転を受けて大幅反発する場面もあったものの、中国の経済指標の悪化や米国の利上げ見送りによる金融政策の不透明感などが嫌気され下落基調となりました。

業種別では、「空運業」(前期末比▲0.44%)の下落率が最小となった一方、「鉄鋼」(前期末比▲32.20%)の下落率が最大となりました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、8月の前半までは緩やかな上昇基調で推移しましたが、下旬にかけて世界的に急激なリスクオフの動きが広がり大幅下落となりました。四半期騰落率は主要市場で概ね▲7%前後の下落でしたが、ユーロ圏の一部では▲10%超下落し、香港市場は▲20%超の大幅下落となりました。

米国株式市場は、7月は雇用統計の不振やギリシャ国民投票を巡る動きから不安定な展開が続きましたが、中旬以降はギリシャ債務協議の大幅な進展を受けて概ね堅調に推移しました。しかし、8月後半に入ると中国株の急落や世界的な景気減速懸念を背景に大幅下落となり、9月も軟調な地合いを引き継ぎました。

欧州株式市場は、ギリシャ支援交渉の混乱から7月上旬はボラティリティな動きとなりましたが、その後はギリシャ情勢の進展や景気回復期待の高まりを背景に8月上旬まで堅調に推移しました。しかし、中旬以降は世界経済の減速懸念などから急落し、9月には独フォルクスワーゲン社の不正問題から下落幅を拡大しました。

アジア株式市場は、7月はオーストラリア市場が地域市場を下支えしましたが、8月以降は中国の景気減速懸念の高まりを受けて大幅下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、期上旬は経済指標が脆弱交錯する中、日銀による長期国債買い入れオペの実施や、中国景気の低迷や商品価格の下落を背景に世界景気の先行き不透明感が懸念されたことを受けて日本国債が買われました。また、8月に発表された4-6月期GDPが事前予想を上回ったものの、3四半期ぶりにマイナス成長となり、9月には米利上げ見送りや新興国経済の懸念を背景にリスク許容度が悪化したことを受けて日本国債が堅調な展開となりました。結果として日本10年国債利回りは前期末から▲0.109%低下の0.356%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.001%低下の0.010%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、期上旬、中国景気に対する鈍化懸念を背景に中国株が下落したことや、原油価格が一段と下落したことを背景に世界景気の先行き不透明感が増したことをを受けて米国債が買われました。期下旬は新興国経済の懸念が高まったことや、米連邦公開市場委員会(FOMC)が利上げを見送り、現段階では利上げで世界的な金融市場の混乱を招くリスクを避け、慎重に内外の情勢を見極める構えを示したことを背景に米国債が買われました。米国10年債利回りは前期末から▲0.316%低下の2.037%となりました。

欧州債券市場は、期上旬はギリシャの債務問題懸念から独債へ買い圧力がかかりました。期下旬はドラギ欧州中央銀行(ECB)総裁の記者会見を受けて追加緩和期待が高まったことや、独フォルクスワーゲン社の不正問題を受けて株式市場が調整したことを背景に独債が買われました。英国債券市場は、7月に公表されたイングランド銀行(BOE)の金融政策委員会議事録で物価上昇圧力の高まりの懸念を示す当局者が確認されましたが、欧州市場に連動するかたちで底堅い展開となりました。独10年債利回りは前期末から▲0.177%低下の0.587%、英10年債利回りは▲0.262%低下の1.762%となりました。

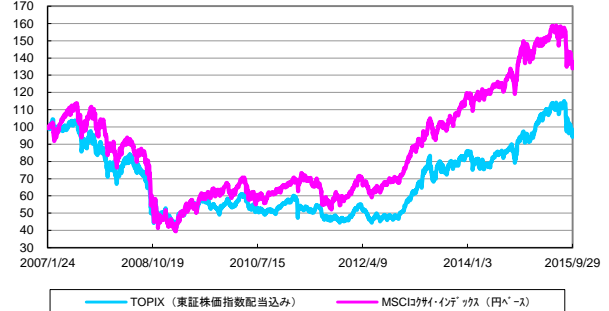
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、期上旬は米利上げ期待を背景に米ドルが買われました。しかし、8月に中国人民銀行が人民元の基準値を引き下げたことや中国景気の成長鈍化懸念が高まったことを背景に、リスク回避姿勢の高まりとともに日本円が主要通貨全般に対して上昇し、対米ドルでは一時1ドル116円台をつけました。円は対米ドルで前期末から2円49銭(2.03%)円高ドル安の1ドル=119円96銭となりました。

ユーロ/円相場は、ギリシャ情勢の不透明感からユーロが軟調となりました。中国人民銀行が人民元の基準値を引き下げたことからリスク回避姿勢の高まりとともに日本円が対ユーロでも上昇しました。円は対ユーロで前期末から2円26銭(1.65%)円高ユーロ安の1ユーロ=134円97銭となりました。

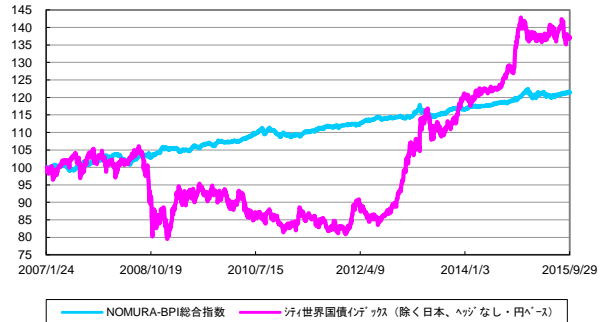
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



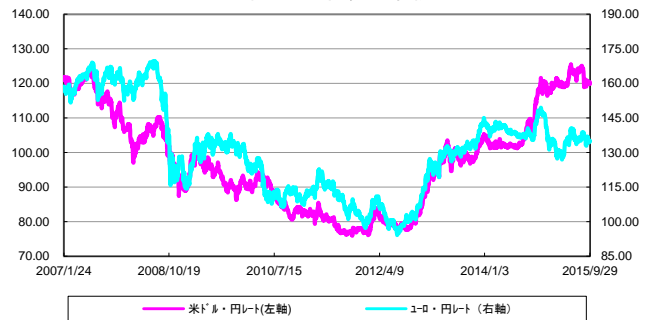
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

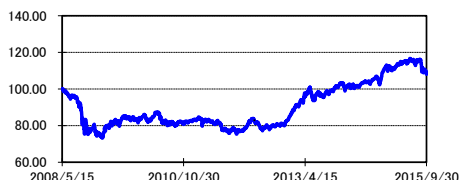
特別勘定の運用状況 [2015年9月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式20% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券30% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))*を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の50% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)
ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式10% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券40% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式10% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券40% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース))*を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の100%について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.5をご覧ください)
ステート・ストリート4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	

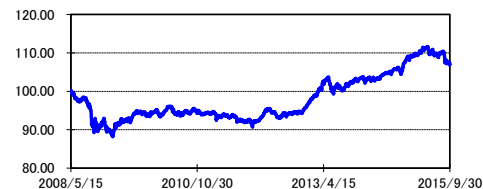
特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40AF(O2)



世界分散型20AF(O2)



・ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年5月15日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2015年9月末	過去1ヶ月 ▲2.83%
2015年8月末	過去3ヶ月 ▲5.11%
2015年7月末	過去6ヶ月 ▲4.87%
2015年6月末	過去1年 1.81%
2015年5月末	過去3年 35.29%
2015年4月末	設定来 8.47%

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2015年9月末	過去1ヶ月 ▲1.14%
2015年8月末	過去3ヶ月 ▲1.98%
2015年7月末	過去6ヶ月 ▲3.42%
2015年6月末	過去1年 0.86%
2015年5月末	過去3年 13.30%
2015年4月末	設定来 7.04%

・ 実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

・ 騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	12,643,251	99.0
現預金・その他	127,791	1.0
合計	12,771,043	100.0

項目	世界分散型20AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	4,454,769	98.9
現預金・その他	48,072	1.1
合計	4,502,842	100.0

・ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・ 金額の単位未満は四捨捨てしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

変額個人年金保険(07)終身D3型

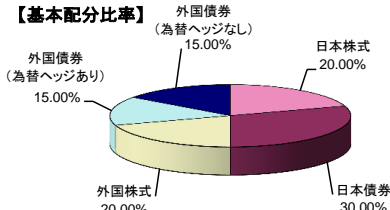
特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2015年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

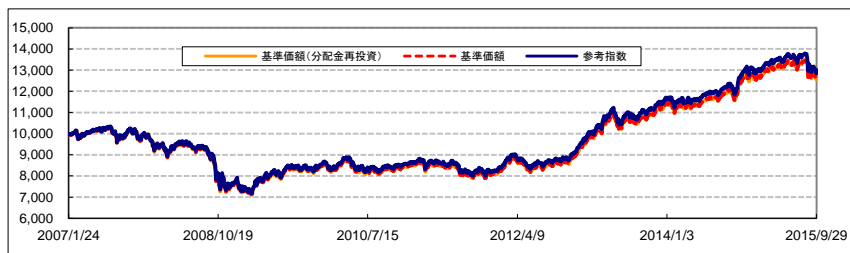
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券:「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券:「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券:「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券:「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.162%(税込0.15%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2015年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	12,598 円	12,941 円	▲ 343 円
純資産総額(百万円)	41,385	43,063	▲ 1,678

	基準価額	日付
設定来高値	13,465 円	2015年8月11日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	8.38%
日本債券	30.00%	13.39%
外国株式	20.00%	8.16%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	5.81%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	7.25%
短期金融資産	0.00%	57.01%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります(「短期金融資産」を除く)。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	21.77%
アメリカ	10.50%
イギリス	1.78%
フランス	1.61%
イタリア	1.36%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	27.58%
米ドル	8.04%
ユーロ	3.93%
ポンド	1.30%
加ドル	0.43%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲2.65%	▲4.52%	▲3.67%	4.52%	46.69%	25.98%
参考指数	▲2.70%	▲4.51%	▲3.61%	4.70%	47.59%	29.07%
差	0.05%	▲0.00%	▲0.06%	▲0.18%	▲0.90%	▲3.09%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

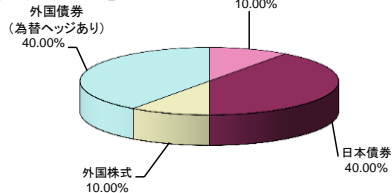
特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2015年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

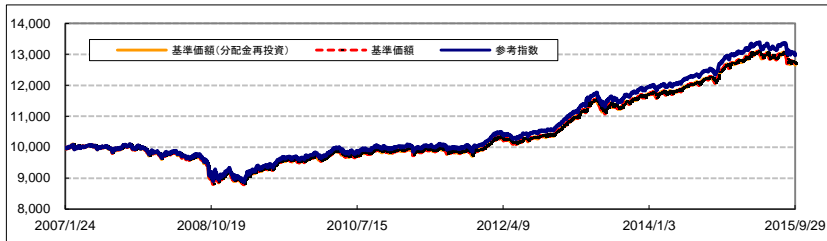
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.162%(税抜0.15%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2015年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	12,696 円	12,817 円	▲121 円
純資産総額(百万円)	9,430	9,722	▲291

	基準価額	日付
設定来高値	13,093 円	2015年4月28日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	3.28%
日本債券	40.00%	14.51%
外国株式	10.00%	3.25%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	14.46%
短期金融資産	0.00%	64.50%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.94%	▲1.36%	▲2.20%	3.52%	22.62%	26.97%
参考指数	▲0.98%	▲1.33%	▲2.05%	3.76%	23.48%	29.99%
差	0.04%	▲0.03%	▲0.15%	▲0.24%	▲0.87%	▲3.02%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。「短期金融資産」を除く。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	17.79%
アメリカ	8.09%
フランス	1.55%
イギリス	1.51%
イタリア	1.44%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	30.52%
米ドル	2.64%
ユーロ	1.13%
ポンド	0.41%
加ドル	0.15%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

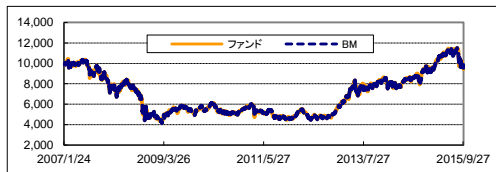
各マザーファンドの運用状況 [2015年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 113,620 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲7.48%	▲12.75%	▲7.65%	8.50%	103.06%	▲3.03%
ベンチマーク	▲7.51%	▲12.78%	▲7.69%	8.42%	102.78%	▲3.35%
差	0.03%	0.03%	0.04%	0.08%	0.27%	0.32%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,893 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.58%	4.64%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.70%	2.74%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.60%	1.63%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.54%	1.56%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.52%	1.54%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.47%	1.49%
7	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.36%	1.38%
8	KDDI	情報・通信業	1.27%	1.29%
9	日本たばこ産業	食料品	1.17%	1.18%
10	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1.07%	1.09%
合計			18.28%	18.54%

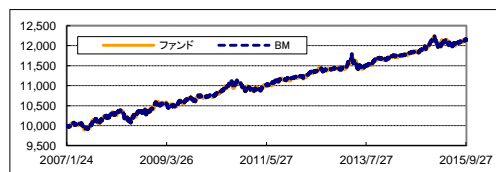
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	11.31%	11.47%	▲0.16%
2	輸送用機器	10.91%	11.06%	▲0.16%
3	銀行業	9.43%	9.57%	▲0.14%
4	情報・通信業	6.93%	7.03%	▲0.10%
5	化学	5.83%	5.91%	▲0.09%
6	小売業	5.10%	5.17%	▲0.07%
7	医薬品	4.95%	5.02%	▲0.07%
8	食料品	4.42%	4.48%	▲0.06%
9	陸運業	4.28%	4.33%	▲0.06%
10	機械	4.27%	4.33%	▲0.06%
合計		67.42%	68.38%	▲0.96%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 158,176 百万円



・ 2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.29%	0.76%	0.57%	2.24%	6.38%	21.40%
ベンチマーク	0.28%	0.74%	0.54%	2.19%	6.34%	21.44%
差	0.01%	0.01%	0.03%	0.05%	0.04%	▲0.04%

・ 設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 661 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第124回利付国債	0.100%	2020年6月20日	1.52%	0.90%
2	第105回利付国債	0.200%	2017年6月20日	1.08%	0.90%
3	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	1.06%	0.49%
4	第335回利付国債	0.500%	2024年9月20日	1.03%	0.80%
5	第286回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.98%	0.47%
6	第337回利付国債	0.300%	2024年12月20日	0.95%	0.56%
7	第332回利付国債	0.600%	2023年12月20日	0.92%	0.90%
8	第104回利付国債	0.200%	2017年3月20日	0.89%	0.27%
9	第333回利付国債	0.600%	2024年3月20日	0.85%	0.86%
10	第103回利付国債	0.300%	2017年3月20日	0.83%	0.59%
合計				10.10%	6.75%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	77.86%	80.82%	▲2.95%
地方債	5.93%	5.89%	0.04%
政府保証債	3.66%	3.45%	0.21%
金融債	0.89%	0.88%	0.01%
事業債	7.33%	7.07%	0.26%
円建外債	0.77%	0.63%	0.14%
MBS債	1.38%	1.27%	0.11%
コール・その他	2.18%	0.00%	2.18%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.39%	0.39%	0.00%
平均クーポン	1.33%	1.20%	0.13%
平均残存期間	9.07	9.05	0.02
修正デュレーション	8.20	8.19	0.01

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

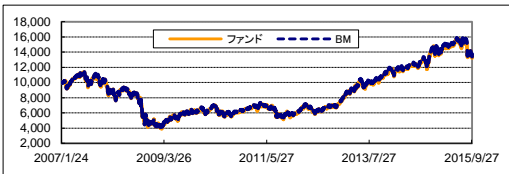
特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年7月~2015年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2015年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額:** 143,062 百万円
 ※ 比率は、純資産総額比となります。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲6.83%	▲11.75%	▲10.57%	2.17%	95.31%	32.22%
ベンチマーク	▲6.82%	▲11.78%	▲10.54%	2.25%	95.97%	33.99%
差	▲0.01%	0.03%	▲0.03%	▲0.08%	▲0.66%	▲1.76%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,329 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.18%	2.29%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.16%	1.21%
3	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.06%	1.11%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.90%	0.94%
5	WELLS FARGO COMPANY	アメリカ	銀行	0.86%	0.91%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.90%
7	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.82%	0.86%
8	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.77%	0.81%
9	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.71%	0.74%
10	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.68%	0.72%
合計				10.01%	10.49%

・ベンチマーク (BM) の比率は2015年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

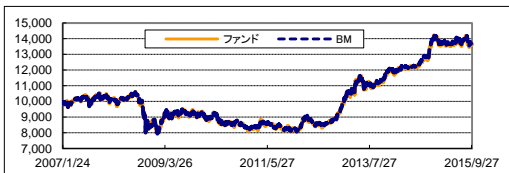
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.76%	10.24%
2	銀行	8.94%	9.39%
3	ソフトウェア・サービス	7.65%	7.99%
4	エネルギー	6.73%	7.04%
5	資本財	6.71%	7.01%
6	食品・飲料・タバコ	6.00%	6.30%
7	素材	4.18%	4.36%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.17%	4.35%
9	保険	4.14%	4.35%
10	各種金融	3.88%	4.07%
合計		62.17%	65.10%

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	61.00%	63.93%
2	イギリス	8.04%	8.43%
3	フランス	4.02%	4.21%
4	スイス	3.87%	4.06%
5	ドイツ	3.54%	3.72%
6	カナダ	3.51%	3.66%
7	オーストラリア	2.57%	2.67%
8	スペイン	1.39%	1.46%
9	香港	1.23%	1.27%
10	スウェーデン	1.18%	1.23%
合計		90.34%	94.64%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

※ ベンチマーク (BM) : シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
 ※ 比率は、純資産総額比となります。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.32%	▲0.50%	▲0.11%	6.38%	58.00%	36.66%
ベンチマーク	▲0.31%	▲0.52%	▲0.07%	6.39%	58.19%	37.30%
差	▲0.01%	0.02%	▲0.04%	▲0.02%	▲0.19%	▲0.64%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 446 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2019年9月30日	0.93%	0.12%
2	アメリカ国債	米ドル	2.250%	2024年11月15日	0.90%	0.44%
3	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.84%	0.43%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.83%	0.20%
5	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.81%	0.15%
6	アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.79%	0.44%
7	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2016年12月15日	0.75%	0.20%
8	イタリア国債	ユーロ	5.000%	2025年3月1日	0.65%	0.22%
9	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年11月15日	0.64%	0.27%
10	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2017年9月30日	0.63%	0.16%
合計					7.77%	2.63%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ベンチマーク (BM) の比率は2015年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	42.26%	42.41%
2	フランス	9.79%	9.78%
3	イタリア	9.75%	9.80%
4	イギリス	8.62%	8.60%
5	ドイツ	7.67%	7.66%
6	スペイン	5.44%	5.44%
7	ベルギー	2.59%	2.61%
8	オランダ	2.54%	2.53%
9	カナダ	2.01%	2.00%
10	オーストラリア	1.67%	1.65%
合計		92.34%	92.48%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.23%	1.22%	0.01%
平均クーポン	3.37%	2.83%	0.54%
平均残存期間	8.11	7.98	0.13
修正デュレーション	6.71	6.67	0.03

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・上記の属性は2015年9月29日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命「ムベシ」 <http://www.axa.co.jp/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%
		特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および保証金額付特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55%
		積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.1620%程度 (税抜0.15%程度)*
		特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することになります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*
		年金支払日に責任準備金から控除します。

* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「黄金世代」は現在販売していません。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>